

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 25-2
補助事業名 平成25年度 ICT社会における安心・安全確保に関する 補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本教育情報化振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

身近になったインターネットであるが、その利用により手軽に多くの情報を入手したり、見知らぬ人々とコミュニケーションを取ったり、自宅での買い物も手軽にできるなど、様々なことが手軽にかつ安心、安全にできるようになると同時に、もう一方では子どもたちがプロフや無料ゲームなどのコミュニティサイトで犯罪などに巻き込まれる事例も発生している。インターネットには危険な面があるということで子どもたちをそれらから遠ざけるのではなく、子どもたち自身がインターネットを上手に使い、上手に付き合っていけるようにすることが大切であるという考え方に基づいて「ネット社会の歩き方セミナー」を開催し地域での研修担当として指導主事に、学校の研修担当の教員に新しい情報モラルの指導方法をセミナー方式で理解していただくことと地域でのつながりを深めるためワークショップでの研修方法を指導した。

しかし、児童・生徒がインターネットで危険な目にあったり、ネットでのいじめなどが起こる原因としては子供同士のコミュニケーション不足も原因であることが調査で分かったため、平成25年度からは「ICT社会におけるコミュニケーション力の育成」研修事業にも取り組み、言語活動と情報活用能力をキーワードに、コミュニケーション力を『主体的に情報にアクセスし、収集した情報から課題解決に必要な情報を取り出し、自分の考えや意見を付け加えながらまとめ、メディアを適切に活用して伝え合うことにより深めていくことができる能力。』と定義してこれを端的に「21世紀型コミュニケーション力」と称し協調的段階としての「対話」「交流」と、主張的段階としての「討論」「説得・納得」の4つの段階に整理した。これらを実現する授業に活用できる研修モジュールを作成し、それを全国各地の学校や教育委員会主催の研修会で実施できるようにした。

(2) 実施内容

①「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー事業

ア. 「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー用ユニット教材

http://www.cec.or.jp/net-walk/otona_all.html

イ. 講師育成セミナーパワーポイント教材

http://www.cec.or.jp/net-walk/otona_all.html

ウ. 「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー実施報告書

http://www.cec.or.jp/cecre/pdf/h25_houkoku.pdf



野田市教育委員会における研修風景

やまぐち県教育委員会でのワークショップ風景

② ICT社会におけるコミュニケーション力の育成

21世紀型コミュニケーション力の思考ツールを学ぶ研修

コミュニケーション手法である「ブレインストーミング」や「KJ法」、「イメージマップ」、「バズセッション」等の思考ツールを使い、あるテーマを使い教師が研修の中で実際に体験・習得し、実際の授業で子どもたちに活動させるようにする。

モジュール内容の種類

A:理論解説	1 概要解説 モジュール
	2 能力表解説 モジュール
B:課題改善	1 授業研究 モジュール
	2 指導案改善 モジュール
C:参加体験	1 パネル討論 モジュール
	2 ブレインストーミング モジュール
	3 ブレインストーミング+KJ法 モジュール
	4 イメージマップ モジュール
	5 バズセッション モジュール
	6 ポスターセッション モジュール

ア. ICT社会におけるコミュニケーション力の育成研修パッケージ

<http://www.cec.or.jp/cecre/21ccompackage.html>

イ. 研修プラン

<http://www.cec.or.jp/cecre/21ccomplan.html>

ウ. 研修教材

<http://www.cec.or.jp/cecre/21ccomtool.html>



イメージマップを使って取材
の研修風景

岩見中学校にて研修開催
ポスターセッションの研究風景



2 予想される事業実施効果

教育委員会や教員からは、実態に即した事例の紹介や、児童生徒への指導方法、保護者への啓発の在り方について、大変わかりやすい講演と豊富な資料を生かした指導案づくりのワークショップ等は参加者が意欲的に取り組むことができた。との評価を得た、特に、セミナー後に校内研修などの研修の予定のなかった 83.6%の参加者のうち 44.85%の半数に近い参加者が「現在予定はないが計画する」と回答している。本セミナーを体験したことで意欲の向上が見られたこと等成果があった。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー事業

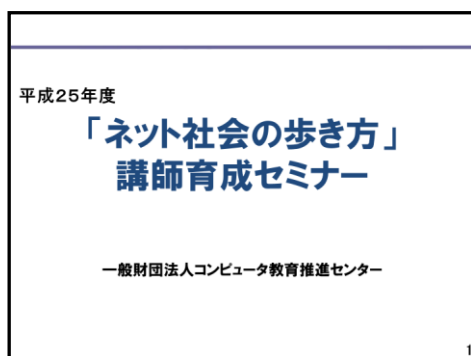
ア. 「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー用ユニット教材

http://www.cec.or.jp/net-walk/otona_all.html

No.	画面例	タイトル	校種	教科	学習目的	学習指導要領	ワークシート
1		Webサイトの情報を活用しよう	中	特別活動 社会 地理歴史	検索サイトの検索や情報で学ぶ情報の取扱い、学び方。		
2		こんなWebサイトに気をつけて	中高	技術家庭 情報	人が得る情報やサービスが手軽に入手できる数に比例して情報の取扱いが、適切な取扱いとなる。		
3		大人向けの情報に注意	小	道徳	インターネットのWebページには、大人向けの情報が含まれている。情報の取扱いが、適切な取扱いとなる。		
4		危険な商品に注意	中高	技術家庭 情報	インターネットのWebページには、危険な情報が含まれている。情報の取扱いが、適切な取扱いとなる。		

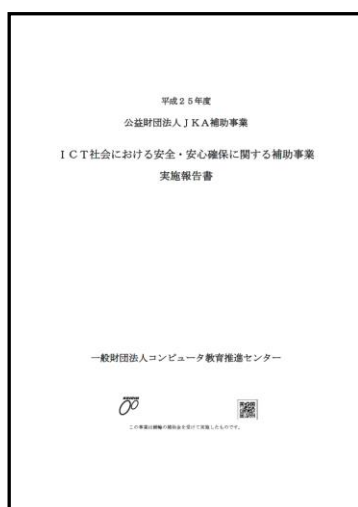
イ. 講師育成セミナーパワーポイント教材

http://www.cec.or.jp/net-walk/otona_all.html



ウ. 「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー実施報告書

http://www.cec.or.jp/cecpre/pdf/h25_houkoku.pdf



② ICT社会におけるコミュニケーション力の育成

ア. ICT社会におけるコミュニケーション力の育成研修パッケージ

<http://www.cec.or.jp/cecre/21ccompackage.html>

研修パッケージの開発

「21世紀型コミュニケーションの育成」を校内研修や教育委員会等主催の研修のテーマとした際に、実際に活用できるパッケージを開発しました。

研修プラン

本研修を計画する際、いくつかのモジュールを組み合わせて、研修プランを作成します。

研修プランでは、複数のモジュールを連結する「連結モデル」と、モジュールの中に他のモジュールのエキスを取り入れる「入れ子パターン」が想定されます。

連結パターン

モジュール①
+

モジュール②

入れ子パターン

モジュール①
モジュール②

イ. 研修プラン

<http://www.cec.or.jp/cecre/21ccomplan.html>

研修プラン

校内研修や教育委員会等主催の研修で、「21世紀型コミュニケーション力の育成」をテーマに設定した研修パッケージを開発しました。
研修パッケージは、「研修プラン」「研修モジュール」「研修教材」を用意しました。この3つをご活用いただく、各研修を実施することが出来ます。
研修を実施するに当たり、進め方をご紹介します。

研修プラン一覧

本研修を計画する際、いくつかのモジュールを組み合わせて、研修プランを作成します。
研修モジュールのタイプは、以下の3つです。研修のテーマに合わせて、選びます。

A: 理論解説

21世紀型コミュニケーション力の育成の概要や考え方を理解する研修
21世紀型コミュニケーション力の育成の概要や基本的な考え方について、教員集団で理解を深めたり、校内研修等での取組の方向性を確認する。

B: 課題解決

21世紀型コミュニケーション力育成に向けた、課題解決や合意形成を行う研修
コミュニケーション力の育成の授業改善において、課題を教員集団で考えたり集団意志を決定したりして、研修の中で教師間で意見の一致を図る。

C: 参加体験

21世紀型コミュニケーション力の思考ツールを学ぶ研修
コミュニケーション手法である「ブレインストーミング」「イマジマップ」「バズセッション」等の思考ツールを教師が研修の中で実際に体験・習得し、実際の授業で子どもたちに活用させるようにする。

ウ. 研修教材

<http://www.cec.or.jp/cecre/21ccomtool.html>

CEC21ワークショップ 研修モジュール

(1) モジュール名	A-1: 概要解説モジュール
(2) タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> A: 理論解説 <input type="checkbox"/> B: 課題解決 <input type="checkbox"/> C: 参加体験
(3) 主な能力	() 対話 () 交流 () 討論 () 説得・納得
(4) 準備物	・ 「コミュニケーション力指導の手引き」または関連ページコピー ・ 「続・コミュニケーション力指導の手引き」または関連ページコピー ・ Web サイトの映像を視聴できる ICT 機器
(5) 流れ	[45分]
5分	1. 21世紀型コミュニケーション能力表について理解する。 資料スライドを提示 ・ 21世紀型コミュニケーション力とは何か説明する。 ・ 国語を例に、そのつみあげについて理解する。 配布資料: 「続・コミュニケーション力指導の手引き」p8-17
5分	2. モデル授業を視聴する。 2-1. モデル授業の概要を ・ 配布資料を読み合う。 配布資料: 「続・コミュニケーション力指導の

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本教育情報化振興会 (シャ) ニホンキョウイクジヨウカシコウカイ

住所： 〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目9番13号

代表者： 会長 赤堀 侃司 (アカホリ カンジ)

担当部署： 調査・研究開発部 (チヨウサ・ケンキュウカイハツブ)

担当者名： 赤松 伊佐代 (アカマツ イサヨ)

電話番号： 03-5575-5365

F A X : 03-5575-5366

E-mail : akamatu@japet.or.jp

URL : <http://www.japet.or.jp/>